

～就活スケジュールの「リアル」～
一気に加速、「2027年3月卒」の採用活動

進路室長 橋野 幸男

新年(2026年)に入り、これから「2027年3月卒業予定者」向けの採用活動が一気に加速します。電子情報・1年生には旧年に事例として、県内中部地区のIT企業S社から送られてきた『冬季ワークショップ』の案内を紹介しました(卒業生がWebシステム設計・デザインなどで活躍。かつて「卒業研究発表会」の来賓講師をご担当)。そのチラシには「ワークショップの日程」に加え「会社説明会の開催日」が記載され、同時に、同社ホームページには「応募締切日、選考日及び合否連絡予定日」がすでに掲載されていました。下表のとおりで、「4月末までに内々定を出す」というスケジュールです(なお、選考スケジュールを予め明示する「応募者フレンドリー」な企業だと思います)。

ワークショップ	1月9日、1月14日、1月22日	「職種別」3コースで開催
会社説明会	2月19日、3月6日、3月10日	「本社対面」or「オンライン」
選考スケジュール	応募締切	4月1日
	書類選考	4月2日～
	一次試験	4月15日
	二次試験	4月22日 最終合否連絡: 4月30日頃

ちなみに、同社『専用履歴書』には、「同社志望理由」「応募職種とその理由」や「取組みたい仕事」と「その仕事に活かせるスキル」などのほかに、次のような設問があります。

- ・『テクノロジーを親しみやすく』という経営理念から感じること
- ・座右の銘
- ・仕事をする上で大切だと思っていること
- ・影響を受けた人・モノ・できごと

もう一社、映像・音響・照明など演出技術提供のT社を挙げましょう(本社: 大阪市中央区。「帝国ホテル」「ホテルニューオータニ」など全国の著名ホテルに常駐。県内では、「オーディオ・ビデオ・システム」で「ホテル浜松」に卒業生が就労)。

会社説明会+「演出体験」	2月16日～2月22日までの毎日	
選考スケジュール	応募締切	3月1日
	一次試験(筆記・適性)	3月5日
	二次試験(担当者面接)	3月18日・19日
	三次試験(役員面接)	4月2日

皆さんには繰り返すまでもありませんが、「若年労働力の減少」トレンドの下、企業の採用活動は年々「過熱化&早期化」しており、政府が呼びかける採用スケジュール(選考開始: 6月1日など)は全く形骸化しています。そして、あなたの「専門性+基礎力(仕事を推し進める力)+マインド(職業観)」という『スキルセット』を企業に短時間で効果的に伝えるには、入念な準備が必要です。寒さの厳しい時期ですが、皆さん「心を奮い立たせ、熱い」姿を見せてくれることを期待しています。



CANジャーナル

2026
令和8年
1月号

学校法人 中村学園
専門学校 静岡電子情報カレッジ
静岡福祉医療専門学校



令和7年度 2年「台湾研修修学旅行」

12月8日(月)～12月11日(木)

＜研修テーマ＞

『台湾での異文化交流を通じてグローバルな課題に向き合うため、学生たちが研修を自ら企画・立案実施する』



＜研修の目的＞

- ・国際社会が直面する現代社会の課題(SDGs→SWGs、2030問題、DX化、気候変動等)について理解を深める。
- ・各学科の専門性を活かし、台湾と日本における分野毎の共通点・相違点を比較・考察し、グローバルな課題解決への視点を得る。
- ・海外の文化に直接触れることで、自国を客観的に見つめ直し、国際的な視野を養う。

＜研修先＞

- ・現地大学との学校交流・現地学生と台北市内フィールドスタディ
- ・士林夜市・十份・九份
- ※電子: 台北城市科技大学での体験授業・グループディスカッション
- ※福祉: 輔仁大学での学食体験・グループディスカッション



第2学年主任 山本 佳郁代

今年度は、高校時代のコロナ禍で経験できなかった部分を補い、人間力向上に繋げることのできる、実りのある海外研修修学旅行になるよう検討し、「電子・福祉合同の台湾研修修学旅行」を実施させていただきました。

事前学習では、グローバリゼーションの中で、日本から世界に目を向けて視野を広げ、学生自らが問題解決能力を持てるよう、各班でテーマを設定し調べ学習を行いました。

現地では、大学交流や現地学生とのフィールドスタディを通して、境遇的に近い日本と台湾の考え方や視野の持ち方を学び、互いに得る、与えられる関係を築くことのできる異文化交流となりました。また、十份での天燈上げや九份、士林夜市等、台湾の歴史や文化を感じられる場所を訪れることで、実際に足を運び体験して学ぶことの意味を感じることができました。

事後発表会では、学校・学科を越えた学びを共有し、専門職を目指す人材としての感性の幅も広がったのではないでしょうか。そして、研修成果だけではなく全行程を通して仲間との絆を深める有意義な電子・福祉合同台湾研修修学旅行となりました。

「台湾研修修学旅行を終えて」
～現地学生とのフィールドスタディを通して～

子ども心理学科 藤田 愛華

私たちは「台湾の歴史を知ろう」をテーマに台湾と日本の歴史を比較しながら、台湾の文化について学びました。特に、歴史的な背景が現在の台湾の人々の暮らしや文化にどのような影響を与えているのかに注目しました。訪れたのは、『忠烈祠』・『成功聖王』・『龍山寺』です。そこでは、日本とは異なる歴史や文化、生活の様子を実際に体験することができ、とても貴重な学びとなりました。町を歩く中で、漢字が使われている看板が多く、日本と共通点がある一方、建物や食文化、宗教施設などから台湾独自の文化を強く感じました。特に龍山寺では、地域の人々が日常的に祈りを捧げている様子を見て、宗教等が生活に深く根付いていることを実感しました。また、夜市では多くの人で賑わい、台湾の人々の温かさや活気ある雰囲気に触れることができました。台湾の学生や現地の人が親切に接してください、言葉が通じなくても笑顔や身振りで交流できたことが印象に残っています。

この修学旅行を通して、異文化を知ることの大切さや実際に訪れて学ぶことの意味を感じました。今回の経験を学習や人の関わりの中で生かし、相手の文化や考え方を尊重できる姿勢を大切にしていきたいと思いました。



「台湾研修旅行で得た絆」

視能訓練士学科 村田 百合愛

私は台湾を訪れ、現地の学生の方々と多くの交流をすることができました。日本とは異なる文化や台湾ならではの体験ができ、とても新鮮で印象深い経験となりました。

大学訪問では、通訳アプリを通して会話が広がり、短時間でも親しくなることができました。

3日目の博物館見学では、現地学生が台湾の歴史を説明してくれたため、より深く理解することができました。

また、地下鉄やバスの様子、右側通行や信号機、トイレなど、日本との違いを実際に体験し、海外ならではの面白さを感じました。出発前は言語やコミュニケーション不安がありました。しかし、日本語や英語、翻訳アプリを使うことで十分に意思疎通ができると分かりました。

この研修を通して、積極的に関わろうとする姿勢が新しい出会いや学びにつながると実感し、今後もさまざまな文化や人に興味を持って行動していきたいと思います。

CANジャーナル

2026
令和8年
1月号

「台湾研修修学旅行で学べた経験」

総合福祉学科 鈴木 ひより

今回台湾研修修学旅行にて、現地の大学生と交流を図り、介護について意見交換を行いました。日本と台湾では介護に関する制度や支援の仕組みに違いがあり、特に大きな違いを感じたことは、台湾では家族での介護(在宅介護)が中心で、家族で高齢者や障がい者を支えるという考え方が強かったことが何よりも印象に残りました。大学生との話し合いを通して、今まで当たり前だと思っていた介護の考え方方が一つではないことに気付き、視野が広がったように感じています。

また九份や十份、夜市を訪れ、歴史ある街並みや食文化に触ることで台湾の魅力を強く実感することができました。初めは不安も多々感じていましたが、観光を通して現地の方々の温かさに触れ、研修と文化体験両面から、多くの学びを得ることができました。この様々な体験・経験を今後の介護の学びや実習に活かしていきたいと思っています。



「日本と台湾の違い」

介護福祉学科 松井翼

私は海外研修修学旅行の4日間を台湾で過ごしてみて、日本と台湾の違いについて改めて知ることができました。

まずは食事についての違いです。台湾のレストランはテーブルが円卓になっており、様々なおかげが次々に運ばれてくるスタイルでした。一緒に食事している人たちの様子をみたり、食事をとるときに声を掛け合いながらお皿にとりました。日本とは違った食事スタイルを体験することができました。

次に交通についての違いです。台湾では、車を運転する際、日本と違って右側通行が一般的です。また十歩歩いていた時には人通りが多い場所であっても、普通に車が入ってきていて驚きました。バスや電車などの公共交通機関では、飲食禁止で罰金があるというのも日本との違いでした。

今回の海外研修修学旅行を通して、台湾の文化はもちろんですが、日本の文化を再確認できる機会となりました。今回の経験をこれから的人生に活かしていきたいです。

1月の行事

- 1日(木) 元旦
- 5日(月) 保育園開園、仕事始め、新顔合わせ
- 6日(火) 後期再開（1限目 9:15～）
- 7日(水) 成人の日
- 18日(土) 社会人常識マナー検定
- 19日(月) 2CP保育実習II（保育所）～2/3
- 22日(木) オープンキャンパス 13:15～
- 25日(日) 介護福祉士国家試験
- 29日(木) J・B検CBT 16:30～



「台湾での交流を通じて」

ITゲーム&ロボットシステム学科 神谷柊羽

今回の研修修学旅行では、現地の大学生との交流を通して、非常に貴重な体験をすることができました。

私は、台湾の大学において学科の代表者として、現地の学生の前で中国語によるスピーチを行いました。出国前には卒業生の方から中国語のレクチャーを受け、何度も練習を重ねて準備をしました。初めて中国語でスピーチをしたため、当日は緊張して思うように話すことができませんでした。しかし、発表後には拍手をもらい、現地の学生からも褒めていただいたことで、挑戦して良かったと感じると同時に、大きな自信につながりました。

現地の大学生との交流では、日本のアニメや有名人、日本で行ってみたい場所などについて話し、次第に打ち解けることができました。そのおかげで、終始楽しく交流することができました。

3日目行ったフィールドスタディでは、現地の学生にガイドをしてもらい、台湾の観光スポットと一緒に巡りました。台湾のお寺や博物館を訪れ、それぞれの場所の説明や歴史を教えてもらいながら観光をすることができ、とても充実した時間を過ごすことができました。

日本との文化や街並みの違いを実際に見ることができ、また台湾の人々と直接交流できたことで、非常に思い出深い研修修学旅行となりました。今回の経験を通して、また台湾を訪れたいと強く感じました。

「国籍を越えたコミュニケーションの温かさ」

音響&映像メディアクリエイト学科 大村 瑞月

今回の研修修学旅行が初めて海外を訪れる機会となりました。最も大きな印象としては、これまでの海外に対するイメージと大きく変化があったことです。研修に行くまでは、海外は怖いという印象がどうしても強かったのですが、多くの経験を通して、また海外に行ってみたいという気持ちも持てるようになりました。

特に、3日の現地大学生とのフィールドワークでは、現地の学生の方はとても親切で、丁寧に案内をしてくれました。また、日本語ができる学生ということもありましたが、国籍を越えたコミュニケーションの温かさを感じることができました。そのなかで、歴史的な建物や寺院・観光地を見学し、台湾が大切にしてきた文化や背景、日本との関わりについて実際に学ぶことができました。

今回の研修を通して、初めて経験する言語の壁や文化の違いだけでなく、匂いや味といった小さなものまで、教室では学ぶことができない多くのことを体験することができました。初めての台湾は、新しい価値観と視野を広げられる忘れられない経験を得られる良い研修となりました。

広報室より

企画広報室 深澤 满奈美

新年あけましておめでとうございます。今年も、「なりたい自分になる」ために1日も無駄にしない気持ちで、実習、就活、作品制作等をがんばりましょう。

さて、本学では後期AO入学選考のエントリーを受付しています。進路選択に迷っているご家族や友人、後輩等がいらっしゃればぜひ本学を紹介してあげてください。希望していただける方にはぜひオープンキャンパスへ参加してもらうようにお伝えください。まずはオープンキャンパスの体験授業で目指す分野、仕事について一緒に考えましょう。

また、在校生の皆さんもいつもオープンキャンパスへご協力いただき、ありがとうございます。オープンキャンパス終了後の参加者アンケートを見ると、在校生の話が聞けて参考になった、また参加したい、とたくさんの人が書いてくれています。高校生は在校生を通して将来の自分の姿をイメージしますので、今後のオープンキャンパスでも高校生から「先輩たちのようになりたい！」と感じてもらえるよう、また「自分磨き」の機会として在校生の皆さんご協力お願いします。

後期AO入学選考

【B日程】

- ・エントリー期間：令和8年1月6日(火)～2月13日(金)
- ・結果発送：令和8年1月9日(金)～2月20日(金)

【C日程】

- ・エントリー期間：令和8年2月24日(火)～3月19日(木)
- ・結果発送：令和8年2月27日(金)～3月28日(金)

第3回入学選考日程

○入学選考日：令和8年2月7日(土)

特待生選考、自己推薦選考、一般選考、社会人選考、留学生選考

○出願受付期間：令和8年2月6日(金)15時必着

オープンキャンパス

○1/22(木) ○2/7(土) ○2/19(木) 以降毎月開催

【開催時刻】 土曜：両校13:15～ 平日：両校17:00～

◎個別オープンキャンパス開催：希望日時をご連絡ください。

※第4回目以降の入学選考の日程・オープンキャンパスの詳細は
HP・募集要項をご覧ください。